



櫻井さん(左)と永井さん(右)

# 舞鶴 若もん「ワーク&ライフ」

舞鶴の企業で働く若者の声

**永井 梨佐** さん(26) **櫻井 唯** さん(19)

ケンコーマヨネーズ(株)西日本工場 勤務

倉谷にあるケンコーマヨネーズ(株)西日本工場に勤務する若手女性社員の永井梨佐さんと櫻井唯さんにお話を伺いました。

ケンコーマヨネーズという社名から、マヨネーズを作っている会社と思われがちですが、実は、サラダなどの惣菜もたくさん作っていて、特に西日本工場は、ポテトサラダなどを中心に生産しています。

**永井**：私はゴボウサラダなどのラインのソフト管理や設備の調整などのマネジメントをします。分かりやすく言えば、工場の現場監督のような仕事で、どうすれば作業の効率上がるかなど、業務改善に取り組んでいます。

**担当している仕事は何ですか？**

**永井**：綾部市出身で、高校卒業後に入社しました。私も永井先輩と同じく、昔から料理を作るのが大好きで、卒業後は食品関係の仕事に就きたかったので、当社を選びました。

**なぜこの仕事を選びましたか？**

**永井**：西舞鶴高校を卒業し、入社して8年目です。料理が好きで、卒業後は調理師専門学校に進むか迷いましたが、ちょうど食品を扱う当社の西日本工場立ち上げで社員を募集していたので、入社を決めました。

最近の「岩盤浴」にはまっていて、とてもリフレッシュできて癒になっています。

**櫻井**：最近車を買ったので「海の家」エリアなどをドライブしたり、天気の良い日は高校時代から部活で演奏していたサクソフーンを野外で演奏したりする他、海釣りなど、自然豊かな地域のメリットを十分に生かした生活を送っています。

**地元での暮らしはいいですか？**

**櫻井**：私はまだ入社1年目なので、ポテトサラダの生産ラインで、原料となるジャガイモの検品や工場内の運搬などを担当しています。時には、重さ〇〇キログラム以上のジャガイモを積んだ台車を運んだり、かなり大変ですが、将来、先輩のように生産管理を行うときに必要な知識や経験が得られる業務なので、日々頑張っています。

## 年の初め

## 自分の言葉を校閲してみませんか

昨年、出版社で「校閲」を仕事とする女性が主人公のテレビドラマが放映されました。ドラマであり、かなり誇張されていたものの、仕事に全力で取り組む主人公に心を打たれるものがありました。ドラマのタイトルにも「地味に…」とあり、表にあまり出ない地道な作業ですが、この「校閲」という仕事そのものに魅力を感じました。

「校閲」とは、文章や原稿などの誤りや不備な点を調べ、検討したり、訂正したりすることです。書店に並ぶ書籍は、厳しい校閲を経て生み出されていることを知りました。また、差別を助長したり、誰かの人権を侵害したりする表現がないかを考えるのも校閲の大事な仕事だそうでした。

言葉と人権の関わりを考える一つの例として「障害者」という表記について、この「害」の否定的なイメージ(悪い影響を与える)を避けようとして「障がい者」と表記される場合があります。また以前に使われていた「碍(さまたげる)」を用いて「障碍者」と表記するのがよいのではな



いかという考えや、表記の問題よりも障害者を取り巻く差別と偏見を取り除くことが必要との考えもあるようです。このようなことから言葉と人権は密接に関係しているといえるのではないのでしょうか。

私たちは、毎日誰かと言葉を交わして生活しています。同じ言葉であっても言い方によって元気をもらったり、悲しい思いをさせられたりすることがあります。言葉は人の意思や使い方によっては、利器にも凶器にもなる取り扱いに注意が必要なコミュニケーションツールなのです。

日々、「明るく、温かく、人の心を和ませる言葉」を使いたいものです。人と人を心地よくつなぐ言葉を選び、使おうとする心掛けが人権を尊重することにつながるのではないのでしょうか。

新しい年の初めに、自分の言葉で誰かを傷つけていないか、自分自身を校閲してみませんか。

《人権啓発推進室》



## 全国大会等出場者を紹介

### 全国大会出場おめでとう

☆ジュニアオリンピック陸上競技大会  
(10月28日～30日、神奈川県)  
西村鴻生(城南中3年)  
土佐美月(青葉中1年)



☆国民体育大会水泳競技大会  
(9月4日～11日、岩手県)  
奥野幹(西舞鶴高1年)

☆JOCジュニアオリンピックカップ  
日本ユース陸上競技選手権大会  
(10月21日～23日、愛知県)  
岸口照美(西舞鶴高2年)

☆日本バドミントンジュニアグランプリ2016  
(11月25日～27日、宮城県)  
柏原彪吾(西舞鶴高1年)

☆レディースカップ全日本女子選抜  
ウエイトリフティング選手権大会  
(11月18日～20日、愛媛県)  
井崎茅夏(海洋高3年、城北中出身)



(以上敬称略)

## 広報まいつるの写真が動きます

広報紙をもっと楽しんでいただくため、AR(拡張現実)技術を活用したアプリをスマートフォンなどにインストールすることで、広報紙に掲載されている写真から動画を見ることができます。右上のマークが目印。利用方法は次のとおりです。 図広報広聴課 ☎66・1041



### 【利用方法】

- 1: アプリのインストール(英語表記)  
「App Store」か「Google Play」で「Aurasma」を検索。右上のアイコンのアプリをインストール。
- 2: アプリを起動  
位置情報を選択して、一番右までスクロールし「SKIP」をタップする。
- 3: 「maizurucity」をフォロー  
iOS端末の人はアカウント登録が必要。舞鶴市のチャンネルを登録しないと動画が見れません。
- 4: 動画を見る  
Aurasmaのカメラ画面から写真を認識すると動画が動く。



SKIP はここ

## 求職者向けスキルアップセミナー

京都JPCレレッジでは、企業が採用時に求める技術を体系的に学び、就活力や仕事力を高める無料のセミナーを開催。詳しくは次のとおり。

開催日	時間	セミナー名
1月10日(火)	13:10～14:50	発信力
	15:10～16:50	傾聴力
1月24日(火)	13:10～14:50	こころの柔軟性
	15:10～16:50	ストレスとの上手な付き合い方
2月7日(火)	13:10～14:50	社会一般常識～敬語の基本～
	15:10～16:50	職業人意識
2月21日(火)	13:10～14:50	働きかけ力
	15:10～16:50	社会人に必要なセルフマネジメント
3月7日(火)	13:10～14:50	総合対話力～電話編～
	15:10～16:50	基本マナー～ビジネスマナー編～
3月21日(火)	13:10～14:50	ストレスの溜まりにくい考え方
	15:10～16:50	チームのペースに合わせる力

※セミナーは1つからでも受講可

【場所】 商工観光センター  
【定員】 先着各10人  
【その他】 セミナーの受講はハローワークの求職活動の対象

【申し込み・問い合わせ先】 電話で  
ジョブ・サポートまいつる ☎63・0810 へ。

## 春のまいつる仕事フェア 地元で見つかる働く場

正社員・パートを募集する市内の事業所約50社が参加する合同就職説明会を開催。入場無料。予約不要。履歴書不要。  
【日時】 2月24日(金)13時～15時30分  
【場所】 商工観光センター  
▶詳しくは、企業立地・雇用促進課 ☎66・1021 へ。



舞鶴で働きたい人の総合窓口  
JOB サポ  
ジョブ・サポートまいつる  
舞鶴市字浜66 商工観光センター4階  
【開設日時】 月～金曜日、9時～17時  
(土・日曜日、祝日、年末年始を除く、1月は4日から)  
☎63・0810 ㊟62・4589